

# 百年前の選挙 — 選挙大干渉事件 —

平成4年7月28日(火)～8月21日(金)

わが国の国政選挙の歴史は、明治23年(1890年)の第1回衆議院議員選挙以来、すでに1世紀以上に及んでいます。

今回の展示では、今からちょうど百年前の明治25年に行われた、第2回の総選挙にまつわる資料をとりあげてみました。当時の松方内閣は、吏党(政府支持派)の勝利を図るため選挙に大干渉を加え、郡吏・警官まで動員して公然と民党(反政府派)を圧迫、これに対し民党側も死力を尽くして戦い、全国各地で死傷者をだす事態となりました(政府による統計だけで死者25名、負傷者388名)。この大規模な選挙干渉にもかかわらず、結果は民党の勝利、政府側の惨敗に終わります。

## 展示資料リスト

### 1. 品川子爵伝

村田 峰次郎 著

東京 大日本図書 1910 723p

<328-228>

選挙干渉の直接の指揮にあたったのは内務大臣品川弥二郎であった

### 2. 新聞集成明治編年史 第8巻 国会揺籃期

東京 財政経済学会 1935 508p

<614-181>

### 3. 片岡健吉先生伝

川田 瑞穂 著

東京 湖北社 1978 907p

<GK72-63>

最も激しかったという高知県での民吏両派の闘争のようすがうかがえる資料

